**ニュー718 ボクスター GTSと718 ケイマン GTS**

**目次**

概要：向上したパフォーマンス、スポーティなサウンド、印象的なデザイン 2

ポルシェ 718ファミリーに新たに加わったスポーティモデル：2台のGTS。2倍のパワー。 4

パフォーマンスとエンジン - 新しいインテークダクトが生み出すより強大なパワー 4

シャシー - よりスポーティに、いっそう引き締められた足まわり 7

デザイン - さらに印象的に 9

ポルシェ コミュニケーション マネジメント - ユーザーフレンドリーなインフォテイメントシステム 11

オプションのアシストシステム - パフォーマンス向上のための安全性強化 13

燃料消費量と排出量

**718 Boxster GTS：燃料消費量（複合）**9.0–8.2リッター/100 km、

（市街地）12.3–10.9リッター/100 km、（郊外）7.0–6.6リッター/100 km、CO2排出量： 205–186 g/km

**718 Cayman GTS：燃料消費量（複合）**9.0–8.2リッター/100 km、

（市街地）12.3–10.9リッター/100 km、（郊外）7.0–6.6リッター/100 km、CO2排出量205–186 g/km

概要

**向上したパフォーマンス、スポーティなサウンド、印象的なデザイン**

2台の新しいポルシェ ミッドシップエンジンスポーツカー、718 ボクスター GTSと718 ケイマン GTSはさらに素晴らしいパフォーマンスと効率性を提供します。これらのモデルにおいて最も重要な役割を果たすのが2.5リッター水平対向4気筒ターボエンジンです。このユニットは再設計されたインテークダクトと最適化されたターボチャージャーを備えています。パワーはSモデルと比べて11kW（15PS）増の269kW（365PS）を発生します。自然吸気エンジン搭載の先代GTSモデルとの比較では、パワーが最大26kW（35PS）、トルクが最大70Nm、それぞれアップしました。ボクスターとケイマン、どちらのGTSモデルにも、6速マニュアルトランスミッションまたはオプションのポルシェ ドッペルクップルング（PDK）が用意されます。

**ドライブシステム** 2.5リッター水平対向4気筒ターボエンジンは再設計されたインテークダクトと最適化されたターボチャージャーを備え、最高出力269kW（365PS）を発揮します。最大トルクはトランスミッションにより異なり、PDK搭載車では430Nm、マニュアルトランスミッション搭載車では420Nmを発生します。

**パフォーマンス** スポーツクロノ パッケージを標準装備し、PDKをオプション装備とする718 ボクスター GTSと718 ケイマン GTSは0-100km/h加速タイム4.1秒をマーク、最高速度は290km/hに達します。

**シャシー** 718 GTSモデルはブラック（サテン仕上げ）に塗装された20インチのカレラSホイールを標準装備します。ブレーキはフロントに直径330mm、リアに299mmのディスクを採用し、スポーツクロノ パッケージも標準装備の一部で、このパッケージにはダイナミック トランスミッションマウントも含まれます。ポルシェ アクティブ サスペンション マネジメントシステム（PASM）を備えたスタンダードシャシーはGTSモデルのボディをSモデルよりも10mm低く設定しました。機械式リアディファレンシャルロックを備えたポルシェ トルクベクタリング（PTV）がさらに機敏で、いっそう安定したドライビング体験を実現します。

**デザイン** ビジュアル面においてGTSは他の718モデルと明確に差別化が図られています。フロントでは、新しいスポーツデザインのフロントエプロンが特徴的です。GTSモデルの常として、フロントライトモジュールとバイキセノンヘッドライトがブラックに着色されています。リアまわりでは、スモーク処理が施されたテールライト、ブラックのロゴ、ブラックのリアエプロン、そして標準装備のスポーツエグゾースト システムのセンター出しスポーツテールパイプがGTSに独特の外観を与えています。ドアを飾るブラックのGTSロゴと、ブラックにペイントされた20インチホイールがサイドビューを完璧に仕上げています。

**サウンド** GTS ボクスターの印象的なサウンドが、標準装備のセンター出しスポーツエグゾースト システムから発せられます。

**インテリア** GTSモデルはアルカンターラのシートセンター付きスポーツシートプラスを備えています。ステアリングホイールリム、シフトレバー、アームレスト、さらに718 ケイマン GTSのルーフライニングもアルカンターラ仕上げです。ヘッドレストにはGTSロゴが飾られています。

**インフォテイメント**

 タッチスクリーンを備えたポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム（PCM）はスマートフォンと同じように簡単に操作できます。標準装備のポルシェ トラックプレシジョン アプリはドライビングデータを自動的に記録し、スマートフォンにその詳細と分析を表示します。

ポルシェ 718ファミリーに新たに加わったスポーティモデル

2台のGTS。2倍のパワー。

2台のニューGTSは718シリーズのなかで最もスポーティで、最もエモーショナルなデザインを身にまとったモデルです。これらのモデルはデザインを愛好し、日常のドライブに最適なクルマの価値を理解し、かつスポーティさを犠牲にしたくないと考えるドライバーをターゲットにしています。多数のパフォーマンス指向の機能に加えて、GTSモデルはベーシックパッケージでさえ魅力的な内装を備えています。スポーティなコントラストと素晴らしいディテールがスペシャルな雰囲気を演出しています。

904 カレラ GTSが初めてモータースポーツのテクノロジーを公道用スポーツカーとしてストリートに持ち込んだのが1963年のことです。その後、924 GTSと928 GTSが1980年代から1990年代にかけて、このコンセプトを洗練させていきました。そして2010年、GTSは911 カレラ GTS（タイプ997）として復活を遂げ、続いて2014年にポルシェ ボクスター GTSとケイマン GTSが誕生しました。

**パフォーマンスとエンジン - 新しいインテークダクトが生み出すより強大なパワー**

ポルシェのスポーツカーで、いつも鼓動を刻んでいるのが水平対向エンジンです。ミッドシップエンジンの718 GTSは2.5リッター水平対向4気筒ターボエンジンを搭載します。最高出力は269kW（365PS）を発揮。最大トルクはPDKとの組み合わせで430Nmを1900～5000rpmで発生します。その結果、6気筒の水平対向エンジンを搭載した先代GTSよりも、低い回転数から最大トルクが得られます。6速マニュアルトランスミッションとの組み合わせでは、420Nmを1900～5500rpmで発生します。このターボエンジンは718 Sモデルよりも最大11kW（15PS）、自然吸気エンジンを搭載した先代GTSよりも最大26kW（35PS）、それぞれ向上したパワーを提供します。

この性能の向上は、再設計により容積が拡大したインテークダクトと、可変タービンジオメトリー（VTG）を採用したターボチャージャーの最適化およびブースト圧アップによって達成されました。718 Sモデルでは最大ブースト圧が1.1バールであるのに対し、GTSモデルでは、VTG採用のシングルターボチャージャーの最適化とコンプレッサーの大型化により、最大1.3バールの圧力で燃焼室に空気を送り込みます。これにより最大トルク発生回転域が1900rpmという低回転から始まり、5000rpmまたは5500rpmまで維持されることになります。

この結果、トルク特性が向上し、より素早い加速が得られます。標準のスポーツクロノ パッケージとオプションのポルシェ ドッペルクップルング（PDK）を装備した2台の718 GTSモデルは、0-100km/hの加速タイムが現行の718 Sモデルよりも0.1秒縮まり、静止状態からわずか4.1秒で100km/hに加速できます。6速マニュアルトランスミッションとの組み合わせでは4.6秒で100km/hに到達します。2台のGTSモデルの最高速度は290km/hに達します。

けれどもGTSは直線路で速いだけのモデルではありません。ミッドシップエンジンスポーツカーとして、GTSモデルは素晴らしい加速と全力疾走の能力を卓越した横方向の運動能力と融合させています。718 GTSは73箇所のコーナーで構成される全長20.83kmのニュルブルクリンク・ノルドシュライフェを標準タイヤで走行して、7分40秒のラップタイムを記録しました。先代モデルと比較すると、Boxster GTSに比べて16秒、ケイマンGTSより13秒、そして現行の718 ケイマン S（7分42秒）よりも2秒速いタイムになります。

標準装備のスポーツエグゾーストシステムは、センターに配置されたブラックのスポーツテールパイプから水平対向エンジン独特のサウンドを響かせます。エンジンとエグゾーストフラップコントロールによる特別に調整された相互作用と、自動中間加速機能が、GTSモデルに特徴的なエモーショナルでスポーティなサウンドを提供し、それがこのスポーツカーのキャラクターをさらに特徴づけています。

GTSモデルはリアアクスルへのパワー伝達手段として、標準で6速マニュアルトランスミッションを装備し、オプションとしてポルシェ ドッペルクップルング（PDK）を用意しています。PDKは、マニュアルトランスミッションによる機械的な効率の高さと、オートマチックトランスミッションによるシフトとドライビングの利便性を併せ持っています。トラクションが途切れることのない素早いギアチェンジと、スポーツプログラム選択によるエンジントルクのわずかなアップが組み合わされて、加速タイムの向上とラップタイムのさらなる短縮がもたらされました。PDKの理想的なギア比配分とシフトストラテジーも効率性の向上に貢献しています。

ボタン操作ひとつでスポーツモードに切り替えることができます。モードボタンはスポーツクロノ パッケージの小径スポーツホイール（直径360mm）と一体化されており、ドライバーがボタン操作でモードをノーマル、スポーツ、スポーツプラス、個人的なドライビングプログラムから選択することができます。スポーツモードではエンジンはさらにダイレクトに反応し、PDKは反応時間が短縮され、シフトポイントが最大限の加速を提供するために最適な設定に変更されます。トランスミッションはシフトダウンのタイミングが早められ、パフォーマンスを最大限に発揮するためにエンジン回転を維持します。シフトダウン時にはオートブリッピング機能が作動します。スポーツプラスモードでは、これらの特性がさらに強められ、最大限のパフォーマンスを発揮するために最適化されます。このモードでは、レーシングスタートを行うためのローンチコントロールを備えています。PDK装備車両では、このボタンは「スポーツレスポンス」機能を有効化するためにも使われます。これは最大限の瞬発力が得られるようにエンジンとトランスミッションの性能を増強するもので、ターボチャージャーの圧力の上昇も早まります。これにより最大限のレスポンスが20秒間、確保されます。

**シャシー - よりスポーティに、いっそう引き締められた足まわり**

パワーと縦方向の加速性能がGTSモデルの開発にあたって掲げられた評価基準でしたが、高いコーナリングスピードとドライビングの正確さも同様に追い求められました。718 ボクスター GTSと718 ケイマン GTSでは、シャシーコンポーネントをさらにスポーティにチューニングすることにも重点が置かれています。標準で組み込まれたポルシェ アクティブ サスペンション マネジメントシステム（PASM）が、快適性を維持しながら、より優れたトラクションを提供し、ドライビングパフォーマンスを高めます。車高が20mm低く設定されるPASMスポーツシャシーもオプションで用意されています。これにより、車高がGTSスタンダードシャシーよりも10mm低くなります。

ポルシェ スタビリティ マネジメント（PSM）は、ドライビングダイナミクスの限界付近において車両の制御を自動的に安定させるシステムで、車両の進行方向、速度、ヨー速度、横Gを常時監視しています。標準装備のスポーツクロノ パッケージにはPSMスポーツモードが含まれています。このモードは、サーキット走行や冬季のトレーニング走行において、ドライバーが安全性を犠牲にすることなく車両を限界にいっそう近づけて走らせることを可能にするものです。「PSMオン」の状態に比べ、この機能の方が格段に大きなサイドスリップアングルと駆動輪のスリップを許容します。これにより、PSMをバックグラウンドで有効化した状態で、はるかにスポーティなドライビングを行うことができます。

GTSモデルでは、ほかにも標準で追加されるシステムによって、ステアリングの正確さ、敏捷性、トラクションも向上しています。PSMの範囲の拡大と、ポルシェ トルクベクタリング（PTV）および機械式リアディファレンシャルロックによって、パフォーマンスとドライビングプレジャーが高まります。コーナーに飛び込みながらステアリングを切るとき、内側のホイールに断続的にブレーキをかけることで、車両の垂直軸まわりに角運動を発生させます。これにより車両のステアリングの正確さと敏捷性が向上します。機械制御式のディファレンシャルロックは、より多くのパワーを回転の遅いホイールに再分配することを可能にします。この結果、トラクションが高まり、タイトなコーナーを素早く加速して立ち上がることができるとともに、縦方向と横方向の運動性能が大幅に向上します。

ねずみ鋳鉄製ブレーキディスクと赤いブレーキキャリパーがトップクラスの減速性能を提供します。サーキットでの過酷な温度負荷にも対応します。GTSのブレーキは、標準では4ピストン固定式キャリパーと、フロントに330×34mm、リアに299×20mmのディスクが組み合わされます。お客様は、ポルシェ セラミックコンポジット ブレーキ（PCCB）を選択することもできます。このオプションは、フロントが6ピストン固定式キャリパー（黄色に塗装）に350×34mmのディスクと、リアが4ピストン固定式キャリパーに350×28mmのディスクの組み合わせで構成されます。

両GTSモデルとも、20インチのカレラSホイールを標準装備します。タイヤはフロント235/35 ZR 20、リア265/35 ZR 20の組み合わせで、理想的なグリップを提供します。

スポーツクロノ パッケージも標準装備の一部で、パッケージにはダイナミック トランスミッションマウントも含まれます。PADMシステム（ポルシェ アクティブドライブトレーンマウント）はエンジンの振動を最小化し、ドライブトレーン全体の重量によってドライビングダイナミクスが影響を受ける可能性がある動きを軽減します。これはハードなギアボックスマウントとソフトなギアボックスマウント、それぞれの長所を兼ね備えています。ハンドリングは負荷の変化に対してもより正確で安定なものになり、不整な路面でも快適性を犠牲にすることなく高速コーナーを回ることができます。

デザイン - さらに印象的に

新しいGTSモデルは、テクノロジーの観点のみならず、視覚的なデザインの点でも他の718モデルと異なります。GTSのフロントビューは、ブラックのスポイラーリップ付きの新しいスポーツデザインを採用したフロントエプロンが他のモデルとの明らかな違いになります。スモーク処理されたバイキセノンヘッドライトとブラック仕上げのフロントライトモジュールが、GTSのフロントデザインを完璧に仕上げています。そして希望するスタイルのオプションとして、4灯式デイタイムランニングライト、コーナリングライト、ヘッドライトウォッシャーシステム、ダイナミックレンジコントロールを含むポルシェ ダイナミック ライト システム（PDLS）も用意されています。さらにGTSモデルには、希望によりPDLSプラスを含むLED式メインヘッドライトを装備することもできます。

GTSは、側面から見ると、ブラックのGTSロゴと、ブラック（サテン仕上げ）に塗装された20インチホイールによって簡単に見分けることができます。GTSモデルのリアエンドは、スモーク処理されたリアライトと、センターに配置されたブラック仕上げのスポーツテールパイプによって特徴づけられています。マットブラックに塗装されたリアエプロンと、同じカラーにペイントされGTSロゴが飾られたリアリッドが、さらにアクセントを添えています。

室内も濃密なスポーツカー体験の演出に寄与しています。標準装備のスポーツシートプラス（電動式2-way）がドライバーとパセンジャーをしっかりと包み込み、かつ高いレベルの快適性を提供します。すべてのGTSモデルで、シートセンター、ドアのアームレスト、シフトレバーまたはギアセレクターがアルカンターラ張りになっているほか、718 ケイマン GTSではルーフライニングとAピラーにもアルカンターラが使われています。直径360mmで同じくアルカンターラが巻かれたGTスポーツステアリングホイールも標準装備されます。

GTSのロゴがブラックのドアエントリーガードに刻印されています。GTSロゴはレブカウンターとヘッドレストにも飾られています。またエンジン始動時にはTFTスクリーンにGTSロゴが表示されて、ドライバーとパセンジャーを出迎えます。

オプションのGTSインテリアパッケージはGTSの室内の洗練度をさらに高めます。これにはベルトストラップ、ヘッドレストの装飾ロゴ、コントラストカラー（カーマインレッドまたはチョーク）でシートとフロアマットに施されたスティッチなどが含まれます。レブカウンターの文字盤も選択されたカラーで表示されます。ダッシュボードとセンターコンソールのトリムストリップも、ブラシ仕上げとアルマイト仕上げが選択できます。

## ポルシェ コミュニケーション マネジメント - ユーザーフレンドリーなインフォテイメントシステム

またニュー718 GTSモデルには、ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム（PCM）が標準装備されます。そしてオンラインナビゲーションモジュール、ボイスコントロール、ポルシェ コネクトがオプションで用意されます。PCMは近接センサー内蔵の高解像度タッチスクリーンディスプレイを使用したシンプルで使いやすいシステムを備えています。これはスマートフォンと同じようにマルチタッチジェスチャーで操作します。オプションのコネクトプラスモジュールを使用すると、携帯電話やスマートフォンをWi-Fi経由で接続することもできます。

またオプションとしてリアルタイム交通情報の提供も用意され、即応性と信頼性の高いナビゲーションを利用することができます。これにより交通状況の概要を素早く取得できるだけでなく、この情報を使って臨機応変なルート調整も可能となります。そのほかに多数のポルシェ コネクトのサービスが利用可能です。各国および各車両で利用可能なコネクトのサービスの詳細についてはwww.porsche.com/connectにてご確認ください。

スポーツクロノ パッケージも標準装備の一部となっています。ダッシュボードのアナログ式ストップウォッチとインストルメントクラスターのデジタル式ストップウォッチに加えて、このパッケージにはパフォーマンスディスプレイが含まれます。機能が強化されたポルシェ トラックプレシジョン アプリがニュー718 GTSモデルで初めて利用可能になりました。このスマートフォンアプリはポルシェのモータースポーツ活動から派生したもので、車両のシステムと直接接続して、サーキットを走行中に得られた情報を記録・表示するとともに、その情報の詳細な分析も行います。ドライバーはあらかじめ設定された世界中130箇所のサーキットでラップタイムを計測・記録することができます。アプリで希望するサーキットが利用できない場合はドライバー自身が追加することも可能です。

コース走行終了後、このアプリを使ってスマートフォンでドライビングデータを確認できます。区間タイムとラップタイムのほか、基準ラップとの相違点をアニメーションで表示することも可能です。このアプリはPCMから直接取得した車両データとGPSデータを使用します。グラフィックを用いたドライビングデータの分析とビデオによる分析は、ドライバーのパフォーマンスを継続的に向上させることに役立ちます。ビデオによる分析では、スマートフォンのカメラを使用し、その映像にドライビングデータをアニメーションで表示します。別な視点からの分析を行うために、外部カメラからの追加ビデオ映像をシステムに統合することも可能です。ドライビングデータを分析し、それを他のラップと比較することで、ドライバーはブレーキングポイントや理想的なレーシングラインを常に追求することができます。またこのアプリはラップタイムの音響データを提供し、その録音をソーシャルメディアネットワークを介して友人と共有することも可能にします。さらに記録されたビデオの分析とドライビングデータをエクスポートし、自宅のPCで別のソフトウェアを使用して、さらに詳細な分析を行うこともできます。

このアプリにはApple Watch所有者が利用できる追加機能もあり、ドライビング中の心拍数を測定・記録し、あとで分析するといったことも可能です。またベストタイムを更新したときに、Apple Watchからドライバーにバイブレーションで知らせることもできます。

**オプションのアシストシステム - パフォーマンス向上のための安全性強化**

718 ボクスター GTSと718 ケイマン GTSの標準装備にはすでに包括的な安全システムが含まれています。そのひとつがマルチコリジョンブレーキです。このシステムは、最初の衝突後に車両を自動的に減速させることで、それに続く二次的な衝突の程度を軽減することができます。また、ポルシェ スタビリティ マネジメントシステム（PSM）は、限界付近までドライブされたときでさえ、このミッドシップエンジンスポーツカーの挙動を制御下に保ちます。

ニューGTSモデルに用意されるアシスタンスシステムは、顧客それぞれの必要性に応じて個別に選択することができます。オプションのクルーズコントロール機能は、下り勾配を走行中に設定された速度を超えた場合に緩やかにブレーキをかけます。同じくオプションのアダプティブ クルーズ コントロールシステムには、PDKとの組み合わせで使用されるコースティング（惰性走行）機能も含まれます。

レーンチェンジアシスト機能は、GTSモデルが複数の車線がある道路を高速走行中の安全性を高めます。車速が15km/hを超えると、システムは後部のレーダーセンサーを使用して車両後方およびドライバーの死角エリアを監視します。車速が30km/h～250km/hのとき、システムはミラー取り付け部のフィニッシャーに組み込まれた警告灯を使用して、ドライバーに後方またはドライバーの死角から接近する車両の存在を知らせます。ドライバーが方向指示器を作動させるか、システムが車線変更を検知すると、警告シグナルが点灯します。レーン チェンジ アシスト機能による利便性と安全性の向上は特に高速道路で本領を発揮します。このシステムは車両のコントロールには干渉せず、またいつでも解除できます。